

# TOKIN TOKIN

～変形敷地の有効利用～



名古屋市東部の閑静な住宅街に計画した。敷地は東は東山タワーを望み、西面は現在空地で南面は道路をまたぎ公園となっている。家族構成は夫婦、男子中高生の子も二人の4人家族である。要望内容は3台の駐車スペースを確保し一部は車に雨がつかないようにし、趣味が料理であることから細部までこだわったオリジナルキッチンと多くの収納を確保する事である。子どもが育った後は、同一階で生活ができるようにしてほしいという内容である。

## 貫通通路の挿入

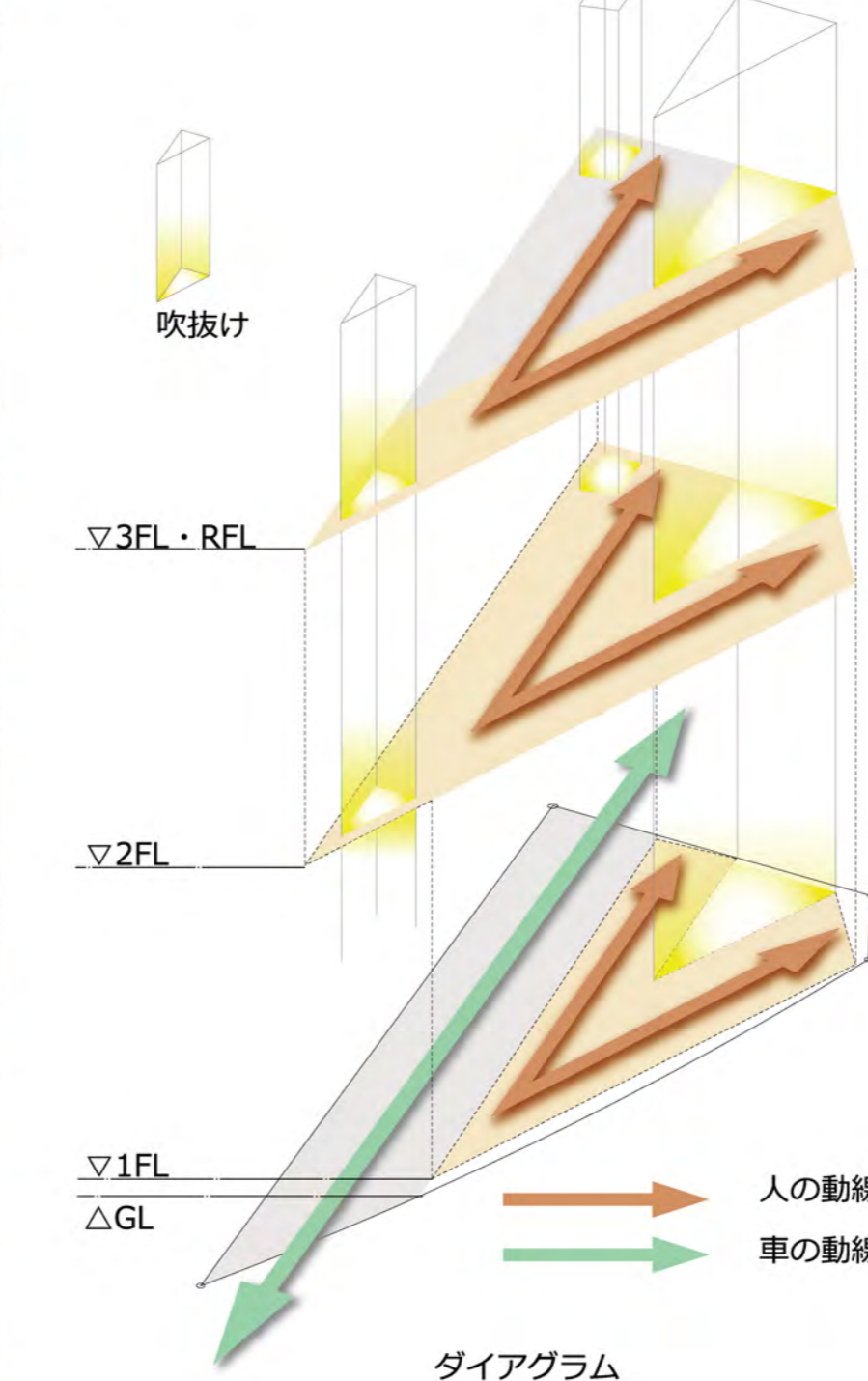
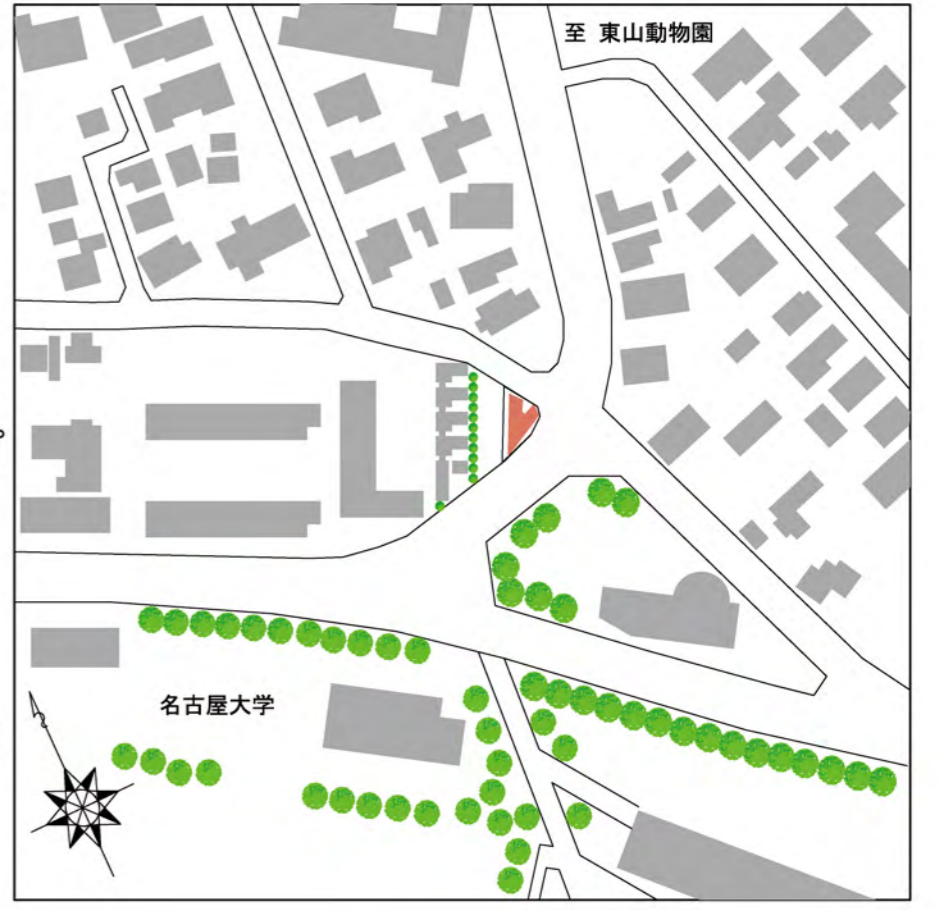
都市部で並列式駐車3台確保する事は土地取得費用が高額となり、一般的所得層では現実的ではなく、縦列式とした場合は使い勝手が悪い。そこで、敷地内を貫くように道路を配置させることで縦列式ではあるが2方向の道路へアプローチすることができる。よって、土地取得費を軽減できる。また、歩道道を分離せず共有させ2階床を約2メートルはね出す事により車や玄関の庇として共有させ雨をしのぐ事ができる。

## V字型平面

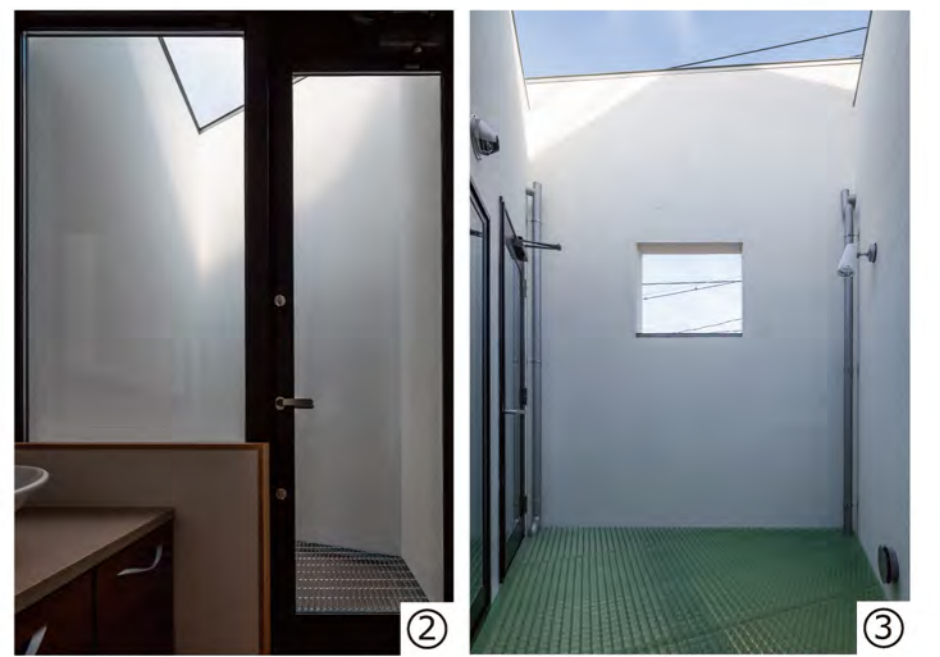
土地を有効活用する為に、三角の敷地の長辺方向を軸としたV字型平面計画とした。Vの文字の交差点部を住宅の中心であるリビングとした。建物と敷地との隙間を外壁で囲み採光と通風を得ると共にプライバシーを確保し、吹抜け部の床をグレーチングを敷き建ぺい率の緩和措置を得ると床を確保した。外観は3階建てに見えないように周囲への圧迫感を軽減した。

## 混構造

駐車場部分にはね出した床を構築する為には1階部分を壁式鉄筋コンクリート造とし、2階から3階部分を木造にすることで固定加重を軽減し、基礎設計及び建築費用を軽減する為に混構造を選択し、解法はV字型のそれぞれのXY方向で安全を確かめた。



タタミコーナーから吹抜けを見る やわらかい光が入る ①



吹抜けを見る 床はFRPデッキの為下の階まで光や風が通る ②

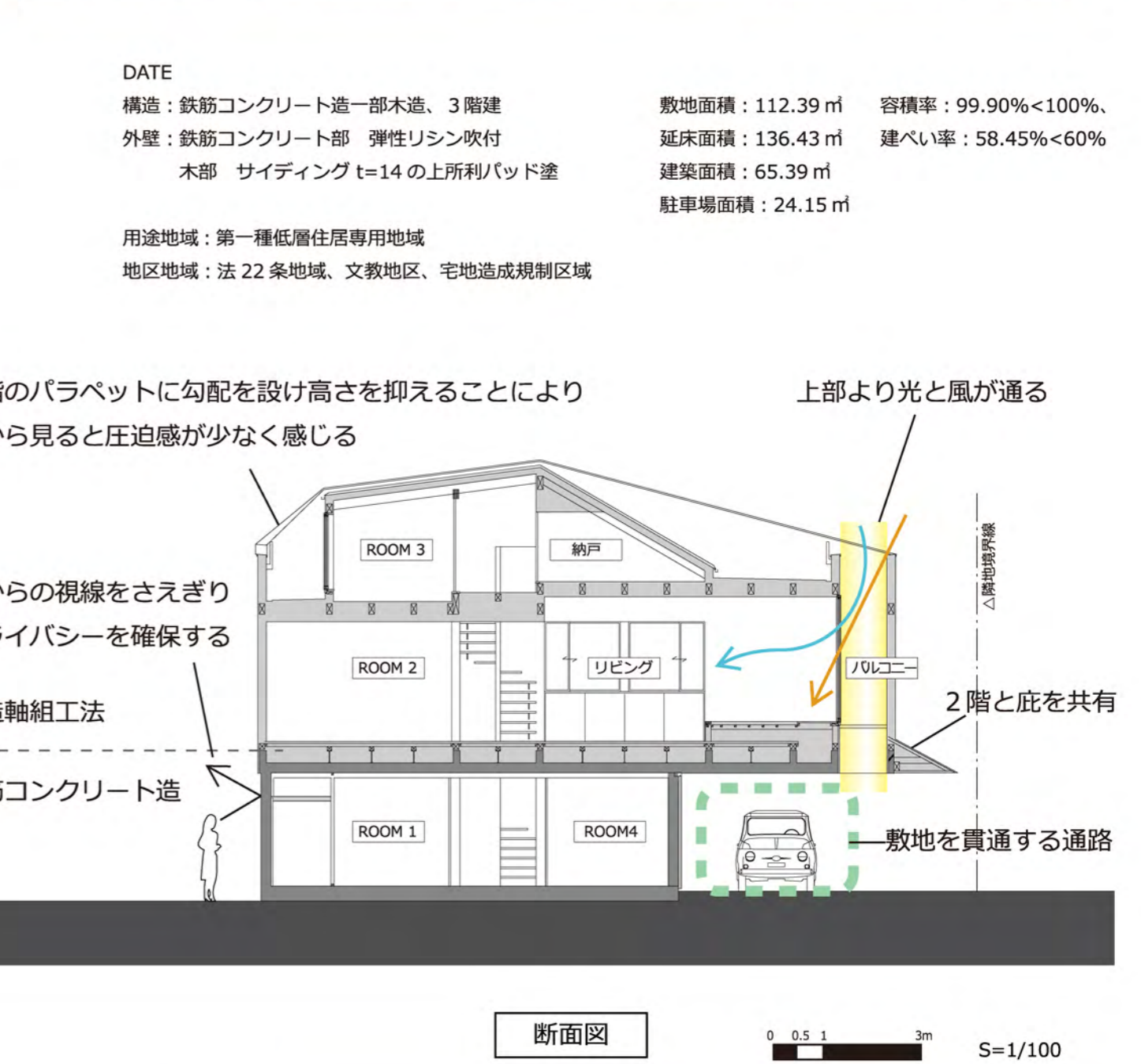
貫通通路の挿入→3台駐車確保、庇の共有



V字型平面→採光・通風・プライバシーの確保



混構造→建築コストの低減化



3階建てに見えないように圧迫感の低減 ⑦



こだわりのオリジナルキッチン ⑧



階段からタタミコーナーを見る ⑨



南面より夜景を見る ⑩